

申請者	学科名	造形デザイン	職名	助教	氏名	榎尾 聡美 印
調査研究課題	シルクスクリーンと刷毛染め、樹脂筒描きによる染色絵画表現の研究					
交付決定額	150,000 (円)					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表					
	分担者					
調査研究実績の概要	<p>繊維造形作品が主流である現在のテキスタイルアートの分野において、染色布を主体とする作品は限られている。染色布を主体とするものとして着物や屏風等の既存の形式のものは存在しているがそれらの多くは伝統工芸に分類されるものであり、新規性はない。既存の形式や手法にとらわれない染色布による造形表現的な作品制作は新たな可能性があると言える。現代の情報化していく社会を踏まえ、染色布を素材とした造形物が、人間を始め全ての生物が絶えず営み続ける“生きる”という行為を直感するための視覚的な装置となることを目指し研究及び作品制作を行った。研究成果の発表として岡山と京都での研究共同発表会に作品を出品した。</p> <p>京都では世界初の染色専門美術館である染・清流館において開催された「染+「わたしにまつわるそめのはなし」」に招待され作品を出品した。この発表会は京都芸術大学 三橋遵教授が監修し、作家を選定した。会期中には三橋教授と作家による作品解説会が行われ、その様子は美術館のホームページで公開されている。岡山では真庭市、勝山町並み保存地区内にある旧・岡野屋旅館での「岡野屋旅館プロジェクト2013」に参加した。2003年に営業を終えた岡野屋旅館は2010年から作家や地域住民の手によって建築の修復や保存が行われている。2010年と2011年の開催に続き2013年夏に展覧会と様々なイベントというかたちでプロジェクトが行われた。展覧会では旧・岡野屋旅館を中心に、町の至る所に絵画や彫刻等多様なジャンルの作品が展示された。イベントではプロジェクションマッピングやNPO法人尾道空き家再生プロジェクトを主催する豊田雅子女氏による講演会が開催された。なお、今研究は成果が評価され、岡山県にゆかりのある作家を対象とした「I氏賞」にノミネートされ、選考の結果「signal」は「第7回 岡山県新進美術家育成 I氏賞選考作品展」において奨励賞を受賞した。</p>					

次頁に続く

〈平成25年度研究発表展示〉

1. 「岡野屋旅館プロジェクト2013」  
会期：2013年8月17日（土）～26日（月）  
会場：旧・岡野屋旅館



岡野屋旅館玄関



勝山町並み保存地区



「signal」



調査研究実績  
の概要

2. 「染+「わたしにまつわるそめのはなし」」  
会期：2013年11月1日（金）～24日（日）  
会場：染・清流館



「signal」



3. 「第7回 岡山県新進美術家育成 I氏賞選考作品展」  
会期：2014年1月28日（火）～2月9日（日）  
会場：岡山県天神山文化プラザ （成果資料等があれば添付すること。）

成果資料目録

「第7回 岡山県新進美術家育成 I氏賞選考作品展」案内状